

平成23年度労使研究会・第4回例会のアンケート集約

<日 時>平成24年3月2日(金)14時半~16時

<場 所>東北電労会館

<講 師>日本生産性本部参事 北浦正行 氏

<テーマ>~自己実現~『地域・仕事・生活との調和、ワークライフバランス』

<参加者>45名、アンケート協力39名

1. 講演内容は如何でしたか?

- a 大変わかりやすかった。 14名(35.9%)
- b わかりやすかった。 25名(64.1%)
- c 少しわかりにくかった。
- d わかりにくかった。

2. 自己実現への参考になりましたか?

- a 大変参考になった。 14名(35.9%)
- b 参考になった。 24名(61.5%)
- c あまり参考にならない。
- d 参考にならない。 1名(2.6%)

3. 講演の満足度は如何でしたか?

- a 大変満足 8名(20.5%)
- b 満足 29名(74.4%)
- c やや不満
- d 大いに不満
- *無回答 2名(5.1%)

4. 大変満足、大いに不満と答えた人にお聞きします。具体的にどのようなことですか。

- ・企業にとってのワークライフバランスの中身が良く理解出来た。
- ・WLBの奥の深さを改めて感じた。
- ・残業削減をWLBの実現とリンクさせてうまく運動に活かすことが必要と感じた。
- ・仕事の棚卸を先ずは呼びかけたい。何でもバランス・共感。
- ・名刺という言葉が何回か例示されたが、女性のコミュニティには名刺はないのが普通。
- ・お話の端々に男性中心と言う価値観を感じました。

・名刺に拘るお話自体が男性社会を前提（タテ社会）としているので、多少引っかけりを感じました。（中身としては役割＝名刺と言うことで理解できましたが）

・WLBのお話なのに女性の聴講者が少なすぎるように思う。

・社内には6%女性社員がいるのだから、一割以上は女性の聴講者になるよう工夫してはどうかと思う。女性が参加しやすい時間帯や場所も検討頂きたい。貴重なお話をありがとうございました。

・ワークバランスの基本的概念が、時間枠（一時間、一日、一年、一生という時間軸）の中にあり、決して破れないものであることを明確に示すことが肝要であることを実感しました。

・組合としてもワークライフバランスに取り組んでいるが、考え方の枠が広がり、視点を変えて考えることが出来そうです。

・今後の生活に活かしていきたい。

・満足ですが、時間が足りないと感じました。掻い摘んだ説明で判り易かったが、もう少しゆっくり聞きたかった。

・ワークライフバランスの課題点、地域での問題点がわかった。

・ワークライフバランスに『地域』との共生も大事だということを理解できた。ライフの意味に生活だけでなく、健康・生命があることも知った。

・難しい内容であったが、噛み砕いて説明頂き大変参考になりました。他の人にもこの内容を伝えたいが、説明が難しいので、このようなセミナーを皆に受講して欲しい。

・講演の話の組み立てが分かり易かった。

・喫緊の課題でしたので、かじりついて聞きました。これをヒントに取り組んでいきたい。

・WLBの議論は、どちらかに偏りがちだが、非常にバランスよく、どちらの面からも腑に落ちる内容でした。

5. 研究会は4回の開催でしたが、何回出席されましたか？

a 4回	7名(17.9%)
b 3回	4名(10.3%)
c 2回	14名(35.9%)
d 初めて	12名(30.8%)
*無回答	2名(5.1%)

6. 次年度のテーマなど、ご意見ご要望がございましたら、ご記入ください。

・効率化の具体的な方法、発見の仕方に関するテーマを希望。

- ・ プラス思考、メンタル強化のテーマを希望。
- ・ 業務量の削減、仕事ダイエットの実践例、人事考課、個人評価と組織評価の関係のテーマを希望。
- ・ 現在重要視されているワークライフバランスについて知識を広めることができた。今後も関連書籍を読むなどして知識を広めたい。
- ・ もう少し講演時間が長い方が、より理解できると思いました。
- ・ 会場が寒い。
- ・ メンタルヘルス関係のテーマを希望。
- ・ 多種多様な事業における労働組合活動をテーマに希望。
- ・ 男女平等の取り組み、働きやすい職場づくり等をテーマに希望。
- ・ W L B をテーマとした講義の続きをお願いします。

以上